JOC ジュニアオリンピックカップ 2027

全日本ジュニアスキー選手権大会（アルペン競技）

実施概要

【開催日程】 2027 年 3 月 23 日(火)～28 日(日)

23 日：K2 TCM

24 日：K2 男子･女子 SL

25 日：K2 男子･女子 GSL

26 日：K1 TCM

27 日：K1 男子･女子 GSL

28 日：K1 男子･女子 SL

【開催場所】 ぬかびら源泉郷スキー場(北海道河東郡上士幌町)

【実施種目】

K1 カテゴリー（小学校 5･6 年生）：GSL、SL

K2 カテゴリー（中学校 1 年生～高校 1 年生早生まれ）：GSL、SL

K1 の種目について

1. GSL について

1) 2 本レースとする。

2) 方向転換数を 13～18%とする。

(ﾀｰﾆﾝｸﾞﾎﾟｰﾙ間 MAX 27m、ﾃﾞｨﾚｲﾄﾞｹﾞｰﾄｺﾝﾋﾞﾈｰｼｮﾝの場合はﾃﾞｨﾚｲﾄﾞｹﾞｰﾄから次のﾀｰﾆﾝｸﾞﾎﾟｰﾙ間 MAX27m)

2. SL について

1) 2 本レースとする。

2) 方向転換数を 32～38%+/-3 とする。

(ﾀｰﾆﾝｸﾞﾎﾟｰﾙ間 7m～11m、ﾃﾞｨﾚｲﾄﾞｹﾞｰﾄｺﾝﾋﾞﾈｰｼｮﾝのﾀｰﾆﾝｸﾞﾎﾟｰﾙ間 13m～15m)

総ターン数の７０%以上をショートポールとし、スタートとゴール、斜面変化などの見えにくい部分についてはロングポールの使用が望ましい。

3) 最少 3 箇所、最大 6 箇所のヘアピンと、最少 1 箇所、最大 3 箇所のヴァーティカルコンビネーション（最少 3～最大 4 つのゲートからなる）を設置しなければならない。

最少 1 箇所、最大 3 箇所のディレードゲートコンビネーションを設置しなければならない。また、コンビネーションは同じ種類のポールで構成すること。

【表彰】

各組各種目１０位まで

【スタート順】

K2：SAJ ポイントを採用し、上位 15 名タイまでをドロー、以降はポイント順とし、

ノーポイントはドローとする。

K1：スタート順について

申込時の種目毎のシード順を基に全４つのグループに分ける

（以下各グループを数字+G と表記する）

特別枠選手（前年度入賞）は特Ｇとし、１Ｇの前にスタートする

グループ内はオールドローとする

グループへの配置方法

・資料２に定める配置方法とする

・期日締め切り（11 月 30 日）後に登録０名の県に登録があった場合の追加選手は２Ｇに入れる。

【出場資格】

K2：

1） 本大会に出場する選手は所属するブロックの予選に出場しなければならない
2） 各ブロックに割り当てられたエントリー数内で、各ブロックで選抜された競技者※1
3） 前年度本大会 K2 カテゴリーにおいて各種目 10 位以内に入賞した選手
4） 当該シーズンの全国中学校スキー大会各種目 10 位以内入賞者
5） 2011 年生まれで当該シーズンの３大会で各種目 20 位以内の選手
①全国高等学校スキー大会　②国民スポーツ大会　③全国高等学校選抜スキー大会
6） 当該シーズンの全日本ジュニアスキー選手権(SG)で 10 位以内入賞者
7） 当該シーズンの強化指定Ｄの選手
8） 前年度大会 K1 カテゴリーにおいて各種目５位以内入賞者（中学校１年生が対象）
9） 開催地特別枠で、K2 に３名（男女各）
※1. SAJ ポイントリスト No.12（12 月１日発行）での競技者登録数を基に算出

K1：

1） SAJ 会員登録を完了した選手
2） 各加盟団体に割り当てられたエントリー数内※1 で、加盟団体で選考された競技者※2
3） 前年度本大会において 10 位以内に入賞した選手
※2 種目の出場資格を与える
※前年度入賞種目に限り特別シードを与え抽選を行う
3）開催地特別枠で、 K1 に５名（男女各）
4）申し込み時にＳＡＪ選手宣誓書を提出すること(他種目で提出済の場合も）
※1 11 月 30 日までの SAJ 会員登録完了した者でアルペン区分を選択した会員数を基に算出
※2 選手選考方法は各加盟団体が決定する

【出場選手選考方法（共通)】

- 選考は、概ね２月中旬より、３月初旬までに決定する。
- 出場資格は２種目同一選手を推奨とする。
- 選考方法は各加盟団体及び各ブロックで決定し、シーズン前に周知する
- 加盟団体およびブロック参加枠については、SAJ 競技者登録数に応じて按分する。
ブロック区分については資料１を参照。